

## 期首繰越金の設定

初期設定メニュー ⇒ 繰越金設定 に進みます。

この会計ソフトを使い始めた初年度は入力しますが、次年度以降は新年度更新処理を行うと自動的に設定されます。

### 1. 繰越金の入力

メインメニューで**部門**を選択 ⇒ 初期設定メニュー

繰越金設定のボタンを押すとこのような画面になります。

code	科目名	期首繰越
▶10000	1 資産の部	
11000	1. 流動資産	
11010	現金預金	
11020	現金	
11030	預金 1	
11040	預金 2	
11050	預金 3	
11060	預金 4	
11070	預金 5	
11080	預金 6	
11080	預金 7	

➤ 部門ごとに期首繰越金を入れてください。

部門の選択はここで出来ます。

合計部門は、計算計の部門ですの入力できません。

データベース名【2016年】

一般会計

再計算

合計

一般会計

特別会計

- 青色の科目は集計科目または表示のみの科目名でありますので、金額入力は出来ません。黒色科目に入力してください。  
再計算のボタンを押すと、集計科目に金額が入ります。

code	科目名	期首繰越
▶10000	I 資産の部	
11000	1. 流動資産	
11010	現金預金	
11020	現金	
11030	預金 1	
11040	預金 2	
11050	預金 3	
11060	預金 4	
11070	預金 5	
11080	預金 6	

## 2. 補助科目がある場合

赤色科目は、補助科目があります。その科目の上でダブルクリックすると、補助科目の窓が開きますので繰越金を設定してください。

code	科目名	期首繰越
▶10000	I 資産の部	
11000	1. 流動資産	
11010	現金預金	
11020	現金	
11030	預金 1	
11040	預金 2	
11050	預金 3	
11060	預金 4	
11070	預金 5	

  

コード番号	補助科目名	期首繰越
001	あひる銀行	1,000,000
002	ぼんだ銀行	2,000,000
▶003	らっこ銀行	15,000,000

### 基本財産や特定資産の補助科目

基本財産や特定資産は、指定正味財産と一般正味財産に区分する必要がありますので、この区分のために補助科目を使用しています。補助科目に繰越金を入れてください。

code	科目名	期首繰越
▶12000	2. 固定資産	
12100	(1)基本財産	
12200	土地	
12300	建物	50,000,000
12400	投資有価証(基本財産)	
12500	基本財産特定預金	
12800	基本財産合計	
▶13000	(2)特定資産	
13100	退職給付引当資産	
13200	減価償却引当資産	
13300	特定資産積立資産	
13400	投資有価証券(特定資産)	
14000	特定資産合計	

  

コード番号	補助科目名	期首繰越
▶921	指定正味財産	50,000,000
922	一般正味財産	

### 3. 借方合計と貸方合計の確認

- 繰越金の設定が終わったら再計算をクリックしてください。  
青色部分は自動計算されます。
- 必ず借方合計＝貸方合計であることを確認してください。

31990	指定正味財産合計	50,000,000
32020	(うち基本財産への充当額)	50,000,000
32030	(うち特定資産への充当額)	
35000	2. 一般正味財産	
35010	一般正味財産	33,000,000
35020	一般正味財産合計	33,000,000
35040	(うち基本財産への充当額)	
35050	(うち特定資産への充当額)	10,000,000
39000	正味財産合計	83,000,000
39010	負債及び正味財産の部合計	83,000,000
▶39020		

  

借方合計	83,000,000	貸方合計	83,000,000
------	------------	------	------------

### 4. 部門計について

- 複数部門がある場合、合計を選択してください。
- 次のような画面が出ますので、集計対象を確認して、“実行”してください。

code	Bumonmei	入力区分=1	部門区分	集計対象=1	非表示=1
▶ 0	合計		0	1	
1	一般会計	1	1	1	
2	特別会計	1	1	1	

次の例のように部門階層の区分がある場合は、階層区分ごとの合計も出来ます。

データベース名【2013sample¥】

△△公益事業

合計

○○公益事業

△△公益事業

公益事業計

□□収益事業

収益事業計

法人会計

▶10000 1 資産の部

## 5. 繰越金の印刷

- 印刷ボタンを押すと、印刷条件を設定する画面がでます。必要に応じて、条件を設定して“印刷”ボタンを押してください。
- この条件設定は、他の印刷画面でも同様な画面が出ます。

The screenshot shows a dialog box titled "kurikoshiPForm" with the following settings:

- 0円の科目:**  印刷する,  印刷しない
- 大科目の0円:**  印刷する,  印刷しない
- 0円の表示:**  する,  しない
- 大科目の網掛け:**  する,  しない
- 印刷範囲:**  すべて印刷,  小科目を除く,  準大科目以上,  大科目以上
- 行間隔 (標準 5mm):** 5
- フォントサイズ (標準 8):** 9

Buttons: 印刷, 開じる(O)

0円科目の印刷	通常は印刷しないので、“印刷しない”を選択
大科目の0円	0円科目を印刷しない場合でも“印刷する”を選ぶと、0円として印刷されます。
0円の表示	通常は、“する”を選択してください。
大科目の網掛け	“する”を選択すると、大科目がわかりやすくなります。
科目の印刷範囲	何れかを選択してください。
行間	標準は5mm
フォントサイズ	標準は9～10

## 6. エクセル出力

- エクセル出力を押すと、エクセルが起動して、エクセルに出力されます。
- ここで加工したデータを保存する場合は、ファイルの種類を“エクセル”に変更して保存してください。
- 他のエクセルが実行中の場合は、出力できません。